

アイデア作品説明用紙 (整理番号 6018)

アイデアの名称 歌詞種々

①アイデアの説明図

- フクイコシマンシウタバテマムナリ
1. 福興し万重食べて恵む夏
 2. アイデアで被災地栄す熱夏

②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

心のケア、一寸でも精神的に支えになればと思ひ、また、お守伝いが出ればと思ひ、この歌詞を被災者支援アイデアコンクールに応募しました。この歌詞は今回のために作詞したものでありませんが一寸でも被害した皆様の心の支えになればと思ひ此のアイデアコンクールに応募しました。

1. アイデア行進曲を西六十五搜のマーチ
 2. しあわせ探し
 3. 人生平野
 4. 酒は心の子守りうた
 5. 登り坂
 5. 恋の川流
- 五かたしは可愛いかんそいも。

個人情報

【住所】 埼玉県東茨城郡城里町石塚 612-19
【氏名】 清水 博
【TEL】 029-288-5199

アイティアー行進曲

三百六十五搜のマーチ

一 お宝は何処にもあるさ

だからあなたも探そうよ

一日一変三日で三度

三度搜して二度試す

人生はアイティアーパンチ(衝天パンチ)

つまずき考えまた搜す

あなたも搜すその先に

豊かな実りあるでせう

頭使い足でかせぎ

アイティアー・アイティアー

休まなひで搜そう

ソレ、アイティアー・アイティアー

アイティアー アイティアー

賛歌 清水博作詩

星野哲郎作詩 米山正夫作曲

永前寺清子唄 三百六十五歩のマーチ

賛唄 三百六十五搜のマーチ

二、お宝の種類は多い

だからいっぺんで探すのね

一日一種 三日で三種

みつかるともなない時も

人生はアイティアペンチ（衝天ペンチ）

今日も明日も また明日も

あなたは何時もすばらしい

豊富な知恵をだしている

頭使い足でかせぎ アイティアペンチ

三、お宝のとなりにも宝も

わからない日も あるんだね

一年三百六十五日

一時違りでにがしても

人生はアイティアペンチ

こりずに捜して 夢見よう

宝の山も一ツから

積み上げるときを信じよう

頭使い足でかせぎ アイティアペンチ

星野哲郎作詩 米山正史作曲

三百六十五歩のマーチ 積良唄

氷前寺清子唄 賛唄

一、しあわせは何処にもあるさ

だからあなたも探そうよ

一日一度三日で三度

三度感して二度~~受~~ける(受)

人生は廻伝パンチ

ゴリずに捜して夢見よう

あなたか^か捜すその先は

大きな



輪

でさるでせう(曲はかな光りさすせう)

顔で笑ひ足でかき

廻伝廻伝 休ないで捜そう

ソレ廻伝廻伝 廻伝廻伝

二、しあわせの種類は多い

だから選んで捜すのね

一日一種三日で三種

見つかる時もない時も

人生は廻伝パンチ

今日も明日も また明日も

あなたは何時もすばらしい

豊かな感性抱いている

顔で笑い足でかきぎ

廻佻廻佻休ないで探そう

三、しあわせのとなりには居ても

わからない日もあるんだね

一年三百六十五日

感じる時もない時も

人生は廻佻パニチ

こりずに抱しく夢みよう

しあわせ不幸は始めから

感じること ~~難~~ 信じよう

笑顔作り足でかきぎ

廻佻廻佻休ないで探そう

ソレ廻佻廻佻

廻佻廻佻

清水博作詩

平成10年7月 記す

清水博作詩

Date

人生平野

一、言葉遊びで歌作り

なごむ心の応援歌

酒の缶友に唄つては

すさむ心も気も晴れる

飲んで歌う人の世に

明日を夢見た泣き笑い

二、歌は言葉の遊歩道

なごむ心の通り道

酒は大人の遊園地

すさむ心の夢ンゴ台

歌と酒とで音頭とり

浮きよ下町泣き笑い

三、一人歌を散歩すりゃ

なごむ心の音がする

酒に引かれて夜の町

すさむ心で歌酒場

飲んで歌う涙して

夜の銀座で泣き笑い

茨城縣城皇石塚 清水 博佐詞

酒は心の子守りうた

一、辛い時でも酒がりければ

我慢できると酒をつぐ

浮き世かくれのうら酒場

疲れた心身ココロの子守りうた

酒がうたえ散歩する

子守りうただよこの酒は

二、嫌な時でもあんたがりければ

耐えて行けると酒を呼ぶ

浮き世はぐれのこの己め

破れた心の手術台

酒が歌えく傷をばぐ

おやしみたいさこの酒は

三、泣ける時でもおまゝは可愛い

流す涙が酒を介い

浮き世荒波うら通り

弱虫おいらの通り道

酒が歌えくかじをとる

可愛いやうなよこの酒は

登り坂

茨城県水戸市清水

博作

一、夜がすぎれば朝が来る

朝は陽が来る 光りさす

そんな思ひく そんな思ひく かんば水と

辛いこの世の 登り坂

明日の世明けに歌う坂

二、朝の光りを昏^{くら}耀し

火火灯して おいつきる

そんな思ひが そんな思ひが 明日を呼ぶ

人となる日の 登り坂

義理と人情で歌う坂

三、沈む 夕日や 夜に耐え

暗いやみ世をすぎて明日

きつと陽を見る きつと陽を見る 光りさ

星となる日の 登り坂

明日は錦と歌う坂

恋の川流れ

一、 浮くも沈むも恋路のさだめ

恋に破れた かわなれ 女川流れ

天のさだめが 川くハ男

やつと つかまり たすけ まう

哀れ あわれ 女の あわれ 恋の川流れ

二、 やつと 息 つぎ つかんだ命

愛の たすけ ぶんぼう 男介舟

浮き世情けに 未来をかけた

愛を こい 夢見る あわれ 恋 こい 乙女

哀れ あわれ 女の あわれ 恋の川流れ

三、 泣くも笑うも波風 まかせ

恋の川風 ふきだまり

愛の手づくり男に 着せて

きつと あわれ つかむよ あわれ 幸福を

哀れ あわれ 世の あわれ 恋の川流れ

12.11.14 作詩

13.3.15 改詩

清水 博 依

わたしは可愛いかんそいも

一、あなたが好きよと云う人に

食ツられたいよと呼こんでいる

わたしは可愛いかんそいも

丸く長いい さつまいも

ふかして平たくほしあげた

あまくて ~~平~~い かんそいも

二

あひしてゐるよと云う人に

食ツでさせたいよと呼こんでいる

わたしは可愛いかんそいも

丸い体を平たくし

しなまく味よくほしあげた

あまくて うまい かんそいも

三

あなたに抱かれてあひさるて
たべられたいよと呼こんでいる

わたしは可愛いかんそいも

かごに並ママ陽にあてて

風はさりしてほしあげた

あまくて うまい かんそいも

茨城県水戸市茨城郡城里町石塚一三一九

清水 博 作